



福島県立梁川高等学校
学校だより
知性 誠実 責任
第 7 号
令和2年10月2日（金）

探究の時間

9月24日（木）と10月1日（木）の2回にわたり、2年生の「総合的な探究の時間」で、地域の企業の方々にインタビューしたことや自分たちで調べたことを班ごとに発表する学習を行いました。

〈9月24日（木）〉

- 1 班：福祉の仕事
- 2 班：サービス業
- 3 班：食品製造

〈10月1日（木）〉

- 4 班：製造業
- 5 班：スーパーの仕事
- 6 班：保育の仕事

2回にわたり、SDGsを推進している公益社団法人だて青年会議所の渋谷郷美様と高田祐太様にお越しいただきました。お二方には、発表を聞いての感想や生徒へ向けてのメッセージをいただきました。本校の総合的な探究の時間では、SDGsを取り上げた学習を進めていくことにしています。これからも青年会議所の方々とタイアップしていければと思います。 ～ 渋谷様のお話から「傍楽（はたらく）」～

【校長より】

1 勉強になったこと

- (1) 企業理念やモットーに興味を引かれた。
- (2) 企業にとって地域貢献や社会貢献が、いかに大切かが分かった。

2 発表から

- (1) 本校卒業生からの「高校生のうちに身に付けておくべきこと」の「挨拶・言葉遣い・メモを取る癖」が役立った。
- (2) 企業の「使命感」「やりがい」「対応力・判断力」が印象的だった。
- (3) 認定こども園での「子どもの何を育てたいか」「正直にやる」「へこたれない」が心に残った。

3 いい発表とは

いい発表者とは、いろいろな考えや答えがあると思うが、“いい発表者は、いい聴き手”という答えもある。2年生の各班の発表は、特別声が大いわけではなく、うまいとか上手というものではない。だが、聞いている人に確実に伝わっている。2年生は、お互いの発表を聴くことができるし、渋谷様と高田様のお話を心で受け止めていた。そんな皆さんの姿を見ることができてうれしかった。可能性を感じた。

4 校長からの評価

- (1) 評価基準 B：興味がわいた A：もっと知りたくなった
S：校長をやめてぜひ働きたくなった
- (2) 評価結果 6つの班ともに、十分興味がわいた。そして、もっともっと知りたくなった。したがって、1班から6班まで、すべて「A」である。

5 今後に向けて

先日、2年生の生徒会役員4名と昼食をともにした。4人それぞれから考えていることを聞いたが、一人一人しっかりと考えをもっていた。一人一人に思いがあることが分かった。今後はぜひ、その思いを形にしてほしい。2年生には、先生に言われたことをやるだけのレベルで終わらずに、先生方と議論したりしてほしい。議論するためには、自分の意見が必要である。意見をもつためには考えなければならない。ぜひ、“チャレンジ”してほしい。